

AXIS Q6010-E Network Camera

ユーザーマニュアル

AXIS Q6010-E Network Camera

目次

はじめに	3
ネットワーク上のデバイスを検索する	3
デバイスのWebページを開きます	3
Webページの概要	4
デバイスを構成する	5
画像を調整する	5
ビデオを表示する、録画する	8
イベントのルールを設定する	9
清掃の推奨事項	12
詳細情報	13
プライバシーマスク	13
ストリーミングとストレージ	13
アプリケーション	15
トラブルシューティング	18
工場出荷時の設定にリセットする	18
ファームウェアオプション	18
現在のファームウェアバージョンの確認	18
ファームウェアのアップグレード	18
技術的な問題、ヒント、解決策	19
パフォーマンスに関する一般的な検討事項	21
サポートに問い合わせる	22
仕様	23
製品の概要	23
LEDインジケータ	23
SDカードスロット	24
ボタン	24
コネクタ	24

AXIS Q6010-E Network Camera

はじめに

はじめに

ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、axis.com/supportからダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、*IPアドレスの割り当てとデバイスへのアクセス方法を参照してください。*

ブラウザサポート

以下のブラウザでデバイスを使用できます。

	Chrome™	Firefox®	Edge™	Safari®
Windows®	推奨	推奨	✓	
macOS®	推奨	推奨	✓	✓
Linux®	推奨	推奨	✓	
その他のオペレーティングシステム	✓	✓	✓	✓*

* iOS 15またはiPadOS 15でAXIS OS Webインターフェースを使用するには、**[設定] > [Safari] > [詳細] > [Experimental Features]** に移動し、**[NSURLSession Websocket]** を無効にします。

推奨ブラウザの詳細については、AXIS OSポータルにアクセスしてください。

デバイスのWebページを開きます

1. ブラウザーを開き、AxisデバイスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本製品のIPアドレスが不明な場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して、ネットワーク上でデバイスを見つけます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。初めてデバイスにアクセスする場合は、rootパスワードを設定する必要があります。3 ページ **rootアカウントの新しいパスワードを設定する** を参照してください。

rootアカウントの新しいパスワードを設定する

デフォルトの管理者ユーザー名はrootです。rootアカウントにはデフォルトのパスワードはありません。パスワードは、デバイスに初めてログインしたときに設定します。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。4 ページ **安全なパスワード** を参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. **[Add user (ユーザーの追加)]** をクリックします。

重要

rootアカウントのパスワードを忘れた場合は、18ページ **工場出荷時の設定にリセットする** にアクセスし、説明に従って操作してください。

AXIS Q6010-E Network Camera

はじめに

安全なパスワード

重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用される可能性があることから、パスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことを強く推奨します：

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

Webページの概要

このビデオでは、デバイスインターフェースの概要を説明します。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

www.axis.com/products/online-manual/59061#t10157625_ja

Axisデバイスのwebインターフェース

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

デバイスを構成する

画像を調整する

このセクションでは、デバイスの設定について説明します。特定の機能の詳細については、13ページ、[詳細情報を参照してください](#)。

レンズを交換する


1. 全ての録画を停止し、本製品の電源を切ります。
2. レンズを取り外します。
3. 新しいレンズを取り付けます。
4. 電源に再接続します。
5. 製品のWebページにログインし、[Settings (設定)] > [System (システム)] > [Orientation (向き)] > [Camera X (カメラX)] > [Lens selection (レンズの選択)] に移動して、新しいレンズを選択します。
6. フォーカスを調整します。
7. カメラの位置キャリブレーションを行います。

フォーカスを調整する

ズームの調整方法:

1. [Video (ビデオ)] > [Installation (インストール)] に移動し、ズームスライダーを使用して調整します。

フォーカスの調整方法:

1. [Video (ビデオ)] > [Installation (インストール)] に移動し、 をクリックして、オートフォーカスエリアを表示します。
2. 画像内でフォーカスを合わせる部分が収まるように、オートフォーカスエリアを調整します。
オートフォーカスエリアを選択しない場合、シーン全体にフォーカスが合わせられます。静的な物体にフォーカスを合わせることをお勧めします。
3. **Autofocus (オートフォーカス)** をクリックします。
4. フォーカスを微調整するには、フォーカススライダーを使用します。

露出モードを選択する

監視カメラのシーンに合わせて画質を向上させるには、露出モードを使用します。露出モードでは、開口、シャッター、ゲインを制御できます。[Video (ビデオ)] > [Image (画像)] > [Exposure (露出)] に移動し、以下の露出モードから選択します。

- ほとんどの用途では、[Automatic (自動)] 露出を選択します。
- 蛍光灯など、特定の人工照明がある環境では、[Flicker-free (ちらつき防止)] を選択します。
電源周波数と同じ周波数を選択します。
- 蛍光灯照明がある夜間の屋外や太陽光が射す日中の屋外など、特定の人工照明や明るい光がある環境では、[Flicker-reduced (ちらつき低減)] を選択します。
電源周波数と同じ周波数を選択します。

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

- 現在の露出設定を固定するには、[Hold current (現在の状態で固定)] を選択します。

ナイトモードを使用して低光量下で赤外線照明からメリットを得る

日中、カメラは可視光を利用してカラー画像を提供します。しかし、可視光線が薄くなると、色の画像は明るく鮮明になります。この場合、ナイトモードに切り替えた場合、カメラは可視光と近赤外線の両方の光を使用して、代わりに明るい画像と詳細な白黒画像を提供します。カメラが自動的にナイトモードに切り替わります。

- [Video > Image > Day and night (設定 > 画像 > デイナイト)]の順に移動し、[IR cut filter (IRカットフィルター)]が [Auto (自動)]に設定されていることを確認します。
- カメラがナイトモードに切り替わる光量レベルを設定するには、[Threshold (閾値)]スライダを [Bright (明るい)] または [Dark (暗い)]の方に動かします。

注

明るいときにナイトモードにスイッチ設定した場合、低光量ノイズが少ないため画像のシャープさが残ります。暗いときにスイッチ設定した場合、画像のカラーはより長く維持されますが、低光量ノイズによる画像のブレが多くなります。

低照度環境でノイズを減らす

低照度の条件下でノイズを少なくするために、以下のうち1つ以上の設定ができます。

- ノイズと動きによる画像のブレの間のトレードオフを調整します。[Settings > Image > Exposure (設定 > 画像 > 露出)]に移動し、[Blur-noise trade-off (ブレとノイズのトレードオフ)]スライダを [Low noise (低ノイズ)]の方に動かします。
- [露出モード]を [自動]に設定します。

注

最大シャッター値が高いと、動きによる画像のブレが生じる場合があります。

- シャッター速度を遅くするには、最大シャッターをできるだけ大きな値に設定します。

注

最大ゲインを下げると、画像が暗くなる場合があります。

- 最大ゲインをより低い値に設定します。
- 開口を開きます。

低光量下で動きによる画像のブレを減らす

低光量の条件下で画像のブレを少なくするために、[Video (ビデオ) > Image (画像) > Exposure (露出)]で次の1つ以上の設定を調整することができます。

- [Blur-noise trade-off (ブレとノイズのトレードオフ)]スライダを [Low motion blur (動きによる画像のブレが少ない)]方向に動かします。

注

ゲインを大きくすると、画像のノイズが多くなります。

- [Max shutter (最大シャッター)]を短い時間に設定し、[Max gain (最大ゲイン)]をより高い値に設定します。

それでも動きによる画像のブレに問題がある場合は、

- シーン内の光源レベルを上げます。

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

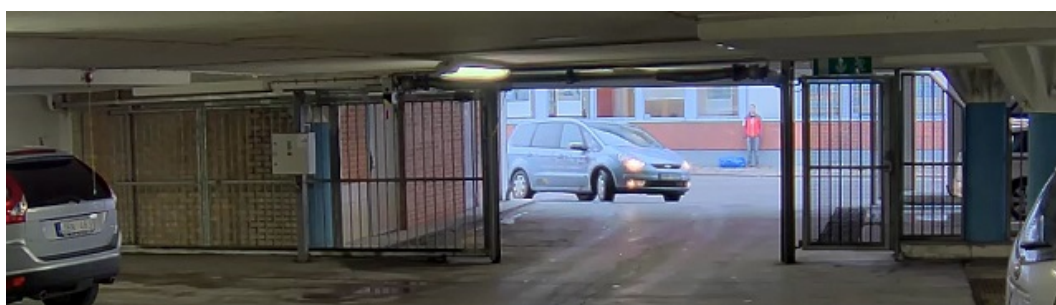
- ・ 物体が横向きではなく、カメラの方へ移動するか、カメラから離れるように移動するようにカメラを取り付けます。

逆光の強いシーンを処理する

ダイナミックレンジとは、画像内の明るさのレベルの差のことです。最も暗い部分と最も明るい部分の差がかなり大きい場合があります。その場合、暗い部分が明るい部分の画像だけが見えることがよくあります。ワイドダイナミックレンジ (WDR) を使用すると、画像の暗い部分と明るい部分の両方が見えるようになります。



WDRを使用していない画像。



WDRを使用している画像。

注

- ・ WDRを使用すると、画像にノイズが発生することがあります。
 - ・ WDRは、一部のキャプチャーモードでは使用できない場合があります。
1. [Settings > Image > Wide dynamic range (設定 > 画像 > ワイドダイナミックレンジ)]に移動します。
 2. [WDR (ワイドダイナミックレンジ)] をオンにします。
 3. それでも問題が発生する場合は、[Exposure (露出)] に移動して [Exposure zone (露出エリア)] を調整し、対象範囲をカバーします。

WDRとその使用方法の詳細については、axis.com/web-articles/wdrをご覧ください。

プライバシーマスクで画像の一部を非表示にする

1つ以上のプライバシーマスクを作成して、画像の一部を隠すことができます。

1. [Video (ビデオ) > Privacy masks (プライバシーマスク)]に移動します。
2. **+** をクリックします。
3. 新しいマスクをクリックし、名前を入力します。

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

4. 必要に応じて、プライバシーマスクのサイズと位置を調整します。
5. すべてのプライバシーマスクの色を変更するには、[**プライバシーマスク**]を展開して色を選択します。
も参照してください


ビデオを表示する、録画する

このセクションでは、デバイスの設定について説明します。ストリーミングとストレージの動作の詳細については、13ページストリーミングとストレージを参照してください。

帯域幅とストレージ容量を削減する

重要

帯域幅を削減すると、画像の詳細が失われる場合があります。

1. [**Video (ビデオ) > Stream (ストリーム)**] に移動します。
2. ライブビューで、 をクリックします。
3. [**Video format (ビデオ形式) H.264**] を選択します。
4. [**Video (ビデオ) > Stream (ストリーム) > General (一般)**] に移動し、[**Compression (圧縮率)**] を上げます。
5. **Video (ビデオ) > Stream (ストリーム) > H.264 and H.265 encoding (H.264 /H.265 エンコード)** に移動し、以下の1つ以上の操作を行います。
 - 使用する [**Zipstream**] レベルを選択する。

注

[**Zipstream**] 設定はH.264とH.265の両方で使用されます。


- [**Dynamic FPS (ダイナミックFPS)**] をオンにする。
- [**Dynamic GOP (ダイナミックGOP)**] をオンにし、GOP長を高い [**Upper limit (上限)**] に設定する。

注

ほとんどのWebブラウザはH.265のデコードに対応していないため、カメラはWebインターフェースでH.265をサポートしていません。その代わりに、H.265デコーディングに対応した映像管理システムやアプリケーションを使用できます。

ネットワークストレージを設定する

ネットワーク上に録画を保存するには、以下のようにネットワークストレージを設定する必要があります。

1. [**System > Storage (システム > ストレージ)**] に移動します。
2. [**Network storage (ネットワークストレージ)**] で [ **Add network storage (+ネットワークストレージを追加)**] をクリックします。
3. ホストサーバーのIPアドレスを入力します。
4. [**Network Share (ネットワーク共有)**] で、ホストサーバー上の共有場所の名前を入力します。
5. ユーザー名とパスワードを入力します。
6. SMBバージョンを選択するか、[**Auto (自動)**] のままにします。


AXIS Q6010-E Network Camera



デバイスを構成する


7. 一時的な接続の問題が発生した場合や、共有がまだ設定されていない場合に接続が失敗した場合は、[Add share even if connection fails (接続テストの失敗時でも共有を追加する)]をオンにします。
8. [Add (追加)]をクリックします。

ビデオを録画して見る

カメラから直接ビデオを録画する

1. [Video (ビデオ) > Image (画像)]に移動します。
2. 録画を開始するには、 をクリックします。

ストレージを設定していない場合は、 [Set up (設定)]  をクリックします。ネットワークストレージの設定手順については、次を参照してください: 8 ページネットワークストレージを設定する

3. 録画を停止するには、もう一度  をクリックします。

ビデオを見る

1. [Recordings (録画)]に移動します。
2. リスト内で録画の  をクリックします。

イベントのルールを設定する

特定のイベントが発生したときにデバイスにアクションを実行させるように、ルールを作成することができます。ルールは条件とアクションで構成されます。条件を使用して、アクションをトリガーすることができます。たとえば、デバイスは動きを検知したときに、録画を開始したり、電子メールを送信したりすることができ、デバイスが録画をしている間にオーバーレイテキストを表示することができます。

詳細については、ガイド「イベントのルールの使用開始」を参照してください。

アクションをトリガーする

1. [System > Events (システム > イベント)]の順に移動し、ルールを追加します。このルールでは、デバイスが特定のアクションを実行するタイミングを定義します。ルールは、スケジュールや繰り返しとして設定することも、手動でトリガーするように設定することもできます。
2. [Name (名前)]を入力します。
3. アクションをトリガーするために満たす必要がある [Condition (条件)]を選択します。ルールに複数の条件を指定した場合は、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。
4. 条件が満たされたときにデバイスが実行する [Action (アクション)]を選択します。

注

アクティブなルールを変更する場合は、ルールを再度オンにして変更内容を有効にする必要があります。

カメラが物体を検知したときにビデオを録画する

この例では、カメラが物体を検知する5秒前にSDカードへの録画を開始し、1分後に停止するようにカメラを設定する方法を示します。

1. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
2. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

ルールを作成する:



1. [System (システム) > Events (イベント)] の順に移動し、ルールを追加します。
2. [name for the rule(ルールの名前)]を入力します。
3. アクションのリストで、[Recordings (録画)]の[Record video while the rule is active (ルールがアクティブである間、ビデオを録画する)]を選択します。
4. ストレージオプションのリストで、[SD_DISK]を選択します。
5. [camera and a stream profile(カメラとストリームプロファイル)]を選択します。
6. プリトリガー時間を 5秒に設定します。
7. ポストバッファ時間を[1 minute(1分)]に設定します。
8. [Save (保存)]をクリックします。

デバイスが物体を検知したときにビデオストリームにテキストオーバーレイを表示する

この例では、デバイスが物体を検知したときに「動体検知」というテキストを表示する方法を示します。

1. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
2. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

オーバーレイテキストの追加:

1. [Video (ビデオ) > Overlays (オーバーレイ)]に移動します。
2. [Overlays (オーバーレイ)]で[Text (テキスト)]を選択し、 をクリックします。
3. テキストフィールドに「#D」と入力します。
4. テキストのサイズと外観を選択します。
5. テキストオーバーレイを配置するには、 をクリックしてオプションを選択します。

ルールを作成する:

1. [System (システム) > Events (イベント)] の順に移動し、ルールを追加します。
2. [name for the rule(ルールの名前)]を入力します。
3. アクションのリストで[Overlay text (オーバーレイテキスト)]で、[Use overlay text (オーバーレイテキストを使用する)]を選択します。
4. ビデオチャンネルを選択します。
5. [Text (テキスト)]に「動体検知」と入力します。
6. 期間を設定します。
7. [Save (保存)]をクリックします。

レンズにスプレーを吹き付けられた場合に自動的にメールを送信する

いたずら検知をアクティブにする:

1. [System > Detectors > Camera tampering (システム > 検知 > カメラに対するいたずら)]に移動します。

AXIS Q6010-E Network Camera

デバイスを構成する

2. [Trigger after (トリガーする時間)]の期間を設定します。この値は、メールが送信される前に経過する必要がある時間を示します。
3. Trigger on dark images (暗い画像でトリガー)をオンにすると、レンズにスプレーが吹き付けられたり、覆われたり、フォーカスがぼやけた場合に検知します。

メール送信先を追加する:

4. [System > Events > Recipients (システム > イベント > 送信先)]の順に移動し、送信先を追加します。
5. 送信先の名前を入力します。
6. [Email (電子メール)]を選択します。
7. 電子メールの送信先のメールアドレスを入力します。
8. カメラには独自のメールサーバーがないため、電子メールを送信するには別のメールサーバーにログインする必要があります。メールプロバイダーに従って、残りの情報を入力します。
9. テストメールを送信するには、[Test (テスト)]をクリックします。
10. [Save (保存)]をクリックします。

ルールを作成する:

11. [System > Events > Rules (システム > イベント > ルール)]に移動し、ルールを追加します。
12. [name for the rule(ルールの名前)]を入力します。
13. 条件のリストで、[Video (ビデオ)]の[Tampering (いたずら)]を選択します。
14. [Notifications (通知)]のアクションのリストで、[Send notification to email (電子メールに通知を送る)]を選択し、リストから送信先を選択します。
15. メールの件名とメッセージを入力します。
16. [Save (保存)]をクリックします。

AXIS Q6010-E Network Camera

清掃の推奨事項

清掃の推奨事項

デバイスに油しみがあつたり、汚れがひどい場合は、マイルドで無溶媒の中性石鹼または洗剤を使用して清掃することができます。

注意

ガソリン、ベンジン、アセトンなどの強力な洗剤は絶対に使用しないでください。

1. 圧縮空気を使用すると、デバイスからほこりやごみを取り除くことができます。
2. マイルドな洗剤とぬるま湯に浸した柔らかい布でデバイスを清掃します。
3. 乾いた布で慎重に拭きます。

注

水滴が乾いて跡が残ることがありますので、直射日光が当たる、または高温になる場所では清掃しないでください。

AXIS Q6010-E Network Camera

詳細情報

詳細情報

プライバシーマスク

プライバシーマスクは、監視領域の一部をユーザーに非表示にするユーザー定義のエリアです。ビデオストリームで、プライバシーマスクは塗りつぶされたブロックとして表示されます。

プライバシーマスクは、すべてのスナップショット、録画されたビデオ、ライブストリームに表示されます。

VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェース (API) を使用して、プライバシーマスクを無効にすることができます。

重要

複数のプライバシーマスクを使用すると、製品のパフォーマンスに影響する場合があります。

ストリーミングとストレージ

ビデオ圧縮形式

使用する圧縮方式は、表示要件とネットワークのプロパティに基づいて決定します。以下から選択を行うことができます。

H.264 または MPEG-4 Part 10/AVC

注

H.264はライセンスされた技術です。本製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、従来のMPEG形式と比較すると50%以上を削減できます。そのため、ビデオファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が少なくなります。また、別の見方をすれば、より優れた映像品質が同じビットレートで得られることとなります。

H.265 または MPEG-H Part 2/HEVC

H.265を使用すると、画質を損なうことなくデジタルビデオファイルのサイズを削減でき、H.264に比べて25%以上縮小することができます。

注

- H.265はライセンスされた技術です。このAxis製品には、H.265閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。
- ほとんどのWebブラウザはH.265のデコードに対応していないため、カメラはWebインターフェースでH.265をサポートしていません。その代わりに、H.265のデコーディングに対応した映像管理システムやアプリケーションを使用できます。

画像、ストリーム、およびストリームプロファイルの設定の互いの関係

[Image (画像)] タブには、製品からのすべてのビデオストリームに影響を与えるカメラ設定が含まれています。このタブで変更した内容は、すべてのビデオストリームと録画にすぐに反映されます。

[Stream (ストリーム)] タブには、ビデオストリームの設定が含まれています。解像度やフレームレートなどを指定せずに、製品からのビデオストリームを要求している場合は、これらの設定が使用されます。[Stream (ストリーム)] タブで設定を変更すると、実行中のストリームには影響しませんが、新しいストリームを開始したときに有効になります。

AXIS Q6010-E Network Camera

詳細情報

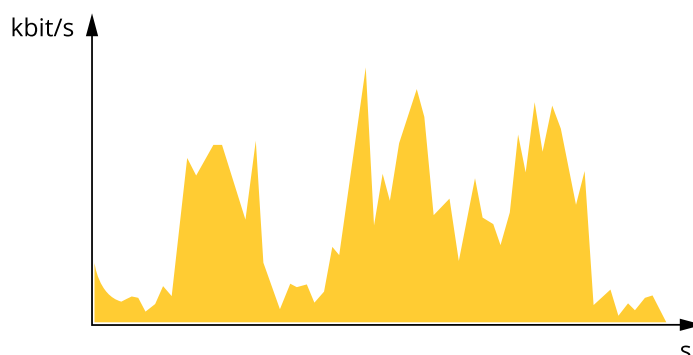
[Stream profiles (ストリームプロファイル)] の設定は、[Stream (ストリーム)] タブの設定よりも優先されます。特定のストリームプロファイルを持つストリームを要求すると、ストリームにそのプロファイルの設定が含まれます。ストリームプロファイルを指定せずにストリームを要求した場合、または製品に存在しないストリームプロファイルを要求した場合、ストリームには [Stream (ストリーム)] タブの設定が含まれます。

ビットレート制御

ビットレート制御で、ビデオストリームの帯域幅の使用量を管理することができます。

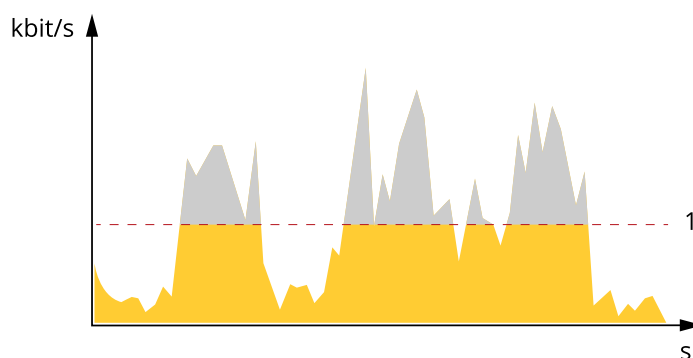
Variable bitrate (VBR) (可変ビットレート)

可変ビットレートでは、シーン内の動きのレベルに基づいて帯域幅の使用量が変化します。シーン内の動きが多いほど、多くの帯域幅が必要です。ビットレートが変動する場合は、一定の画質が保証されますが、ストレージのマージンを確認する必要があります。



Maximum bitrate (MBR) (最大ビットレート)

最大ビットレートでは、目標ビットレートを設定してシステムのビットレートを制限することができます。瞬間的なビットレートが指定したビットレート以下に保たれていると、画質またはフレームレートが低下することがあります。画質とフレームレートのどちらを優先するかを選択することができます。目標ビットレートは、予期されるビットレートよりも高い値に設定することをお勧めします。これにより、シーン内で活動レベルが高い場合にマージンを確保します。



1 目標ビットレート

Average bitrate (ABR) (平均ビットレート)

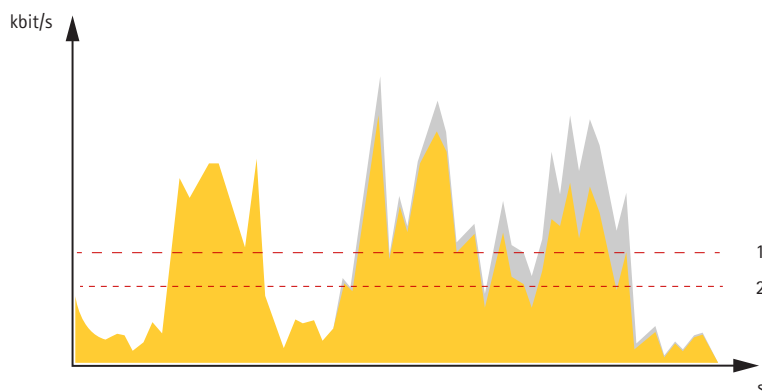
平均ビットレートでは、より長い時間スケールにわたってビットレートが自動的に調整されます。これにより、指定した目標を達成し、使用可能なストレージに基づいて最高画質のビデオを得ることができます。動きの多いシーンでは、静かなシーンと比べてビットレートが高くなります。平均ビットレートオプションを使用すると、多くのアクティビティがあるシーンで画質が向上する可能性が高くなります。指定した目標ビットレートに合わせて

AXIS Q6010-E Network Camera

詳細情報

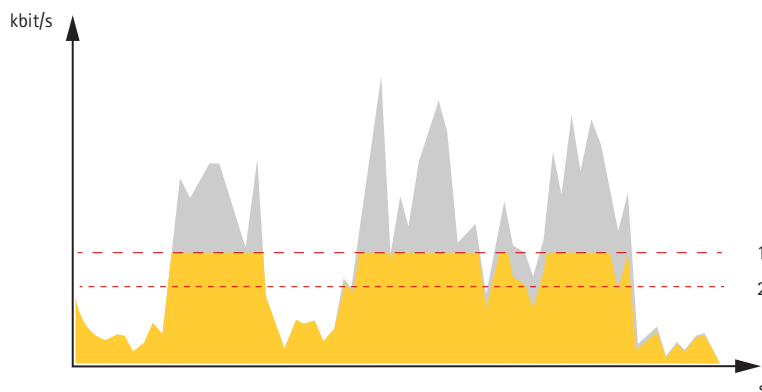
画質が調整されると、指定した期間(保存期間)、ビデオストリームを保存するために必要な総ストレージ容量を定義できます。次のいずれかの方法で、平均ビットレートの設定を指定します。

- 必要なストレージの概算を計算するには、目標ビットレートと保存期間を設定します。
- 使用可能なストレージと必要な保存期間に基づいて平均ビットレートを計算するには、目標ビットレートカリキュレーターを使用します。



- 1 目標ビットレート
- 2 実際の平均ビットレート

平均ビットレートオプションの中で、最大ビットレートをオンにし、目標ビットレートを指定することもできます。



- 1 目標ビットレート
- 2 実際の平均ビットレート

アプリケーション

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、axis.com/applicationsを参照してください。

Axisアプリケーションのユーザーマニュアルについては、axis.comを参照してください。

AXIS Q6010-E Network Camera

詳細情報



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

www.axis.com/products/online-manual/59061#t10001688_ja

アプリケーションをダウンロードしてインストールする方法



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

www.axis.com/products/online-manual/59061#t10001688_ja

デバイスでアプリケーションのライセンスコードをアクティブ化する方法

オートパイロット

Autopilotは、対象範囲を監視するアプリケーションです。デバイス上のイベントは、アラームをトリガーしたり、エリアで人、車両、その他の物体がエリア内を移動している場合にビデオの録画を開始したりするために設定できます。

マルチチャンネルデバイスでアプリケーションを使用するには、少なくとも1つのデバイスでアプリケーションを設定して実行します。

カメラが対象範囲内で動く物体を検知した場合にビデオを録画します

この例では、対象範囲内で動く物体を検知して録画を開始するカメラを設定する方法を説明します。

開始する前に、以下をご確認ください。

1. PTZカメラをマルチセンサーカメラに接続します。
2. PTZカメラでストリームプロファイルを作成します。
3. PTZカメラにネットワークストレージまたはオンボードストレージを設定します。
4. すべてのセンサーが設定およびキャリブレーション済みが確認してください。

マルチセンサーカメラで自動操縦アプリケーションを設定します。

1. [**Settings** > **Apps** > **Autopilot (設定>アプリ>オート>)**] に移動します。
2. アプリケーションを起動し、[**Open (開く)**] をクリックします。

AXIS Q6010-E Network Camera

詳細情報

3. [video control bar (ビデオコントロールバー)]に移動し、[camera on which you want to view the area of interest (目的の範囲を表示するカメラ)]を選択します。
4. クリックして **+**、新しいプロファイルを作成します。
5. [プロファイルのプロパティ]をクリックし、プロファイルに名前を付します。
6. 対象範囲の方向を調整します。
7. 誤報を減らすには、小さくて、短命あるいは[Ignore filters (一時的な物体)]を設定します。
8. 検知する特定エリアが複数ある場合は、[Profile priority (プロファイルの優先度)]を設定します。
9. [Autopilot settings (オートスロットの設定)タブに移動し、[Object tracking(物体追跡)]をオンにします。

PTZカメラでのルールの作成:

1. [Settings > System > Events (設定 > システム > イベント)]に移動し、ルールを追加します。
2. [name for the rule(ルールの名前)]を入力します。
3. 条件のリストで、PTZの[PTZ movement:(PTZの動き)]を選択します。カメラ 1。
4. アクションのリストで、[Recordings (録画)の[Record video while the rule is active (ルールがアクティブである間、ビデオを録画する)]を選択します。
5. ストリームプロファイルを選択します。
6. ストレージデバイスを選択します。
7. [Save (保存)]をクリックします。

AXIS Q6010-E Network Camera

トラブルシューティング

トラブルシューティング

工場出荷時の設定にリセットする

重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。

1. コントロールボタンと再起動ボタンを同時に押し、そのまま押し続けます。
2. 再起動ボタンだけを離し、コントロールボタンをステータスインジケータLEDがオレンジ色に点滅するまで15～30秒間押し続けます。
3. コントロールボタンを離します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
4. インストールおよび管理ソフトウェアツールを使用してIPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。

デバイスのWebページを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。[Maintenance (メンテナンス)] > Factory default (工場出荷時の設定)] に移動し、[Default (デフォルト)] をクリックします。

ファームウェアオプション

Axisは、アクティブトラックまたは長期サポート (LTS) トラックのどちらかに従って、製品のファームウェア管理を提供します。アクティブトラックでは、最新の製品機能すべてに常時アクセスできますが、LTSトラックの場合、バグフィックスやセキュリティ更新に重点を置いた定期的リリースが提供される固定プラットフォームを使用します。

最新の機能にアクセスする場合や、Axisのエンドツーエンドシステム製品を使用する場合は、アクティブトラックのファームウェアを使用することをお勧めします。最新のアクティブトラックに対して継続的な検証が行われないサードパーティの統合を使用する場合は、LTSトラックをお勧めします。LTSにより、大きな機能的な変更や既存の統合に影響を与えることなく、サイバーセキュリティを維持することができます。Axis製品のファームウェア戦略の詳細については、axis.com/support/firmwareを参照してください。

現在のファームウェアバージョンの確認

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際は、まず現在のファームウェアバージョンを確認することをお勧めします。最新のファームウェアバージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには:

1. デバイスインターフェース > [Status (ステータス)] に移動します。
2. [Device info (デバイス情報)] でファームウェアバージョンを確認してください。

ファームウェアのアップグレード

重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、ファームウェアのアップグレード時に保存されます (その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

AXIS Q6010-E Network Camera

トラブルシューティング

重要

アップグレードプロセス中は、デバイスを電源に接続したままにしてください。

注

Active (アクティブ)トラックから最新のファームウェアをダウンロードしてデバイスをアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、axis.com/support/firmwareを参照してください。

1. ファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルはaxis.com/support/firmwareから無料で入手できます。
2. デバイスに管理者としてログインします。
3. [Maintenance (メンテナンス) > Firmware upgrade (ファームウェアのアップグレード)] に移動し、[Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

AXIS Device Managerを使用すると、複数のデバイスを同時にアップグレードできます。詳細については、axis.com/products/axis-device-managerをご覧ください。

技術的な問題、ヒント、解決策

ここで解決策が見つからない場合は、axis.com/supportのトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

ファームウェアのアップグレード失敗	ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、デバイスは以前のファームウェアを再度読み込みます。最も一般的な理由は、間違ったファームウェアファイルがアップロードされた場合です。デバイスに対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。
-------------------	---

IPアドレスの設定で問題が発生する

デバイスが別のサブネット上にある	デバイス用のIPアドレスと、デバイスへのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定することはできません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。
------------------	---

IPアドレスが別のデバイスで使用されている	デバイスをネットワークから切断します。pingコマンドを実行します (コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドとデバイスのIPアドレスを入力します)。
-----------------------	---

- もし、「Reply from <IPアドレス>: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでそのIPアドレスがすでに使われている可能性があります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、デバイスを再度インストールしてください。
- もし、「Request timed out」が表示された場合は、AxisデバイスでそのIPアドレスを使用できません。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、デバイスを再度インストールしてください。

同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある	DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、Axisデバイスは静的IPアドレスを使用します。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、デバイスへのアクセスに問題が発生する可能性があります。
-------------------------------------	--

AXIS Q6010-E Network Camera

トラブルシューティング

ブラウザからデバイスにアクセスできない

ログインできない	HTTPSが有効になっているときは、ログインを試みる時に正しいプロトコル(HTTPまたはHTTPS)を使用していることを確認してください。場合によっては、ブラウザのアドレスフィールドに手動でhttpまたはhttpsを入力する必要があります。 rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。18ページ工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。
DHCPによってIPアドレスが変更された	DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してデバイスのネットワーク上の場所を特定してください。デバイスのモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名(設定されている場合)を使用してデバイスを識別します。 必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 axis.com/support を参照してください。

デバイスにローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

デバイスに外部からアクセスする場合は、以下のいずれかのWindows®向けアプリケーションを使用することをお勧めします。

- AXIS Companion: 無料で使用でき、最小限の監視が必要な小規模システムに最適です。
 - AXIS Camera Station: 30日間の試用版を無料で使用でき、中小規模のシステムに最適です。
- 手順とダウンロードについては、axis.com/vmsを参照してください。

ストリーミングの問題

ローカルクライアントもしくはマルチキャストH.264にアクセスできない	ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、またはクライアントとデバイスの間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。
H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない	Axisデバイスで使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。 ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。
H.264画像のレンダリング品質が悪い	グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。
彩度がH.264とMotion JPEGで異なる	グラフィックアダプターの設定を変更します。詳細については、グラフィックカードのマニュアルページに移動してください。
フレームレートが予想したレートより低い	<ul style="list-style-type: none">• 21ページパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。• クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。• 同時閲覧者の数を制限します。• 使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。• 画像の解像度を下げます。• デバイスのWebページにログインし、フレームレートを優先するキャプチャーモードを設定します。フレームレートを優先するようにキャプチャーモードを変更すると、使用するデバイスと利用可能なキャプチャーモードによっては、最大解像度が低下することがあります。

AXIS Q6010-E Network Camera

トラブルシューティング

- Axisデバイスの電源周波数 (60/50Hz) によって、最大フレーム/秒は異なります。

ライブビューでH.265エンコード方式を選択できない
WebブラウザではH.265のデコーディングをサポートしていません。H.265のデコーディングに対応した映像管理システムまたはアプリケーションを使用してください。

ワンクリックPTZコントロールが正しく動作していない

4つすべてのレンズのフォーカスを確認する	[Settings (設定)] > [Apps (アプリ)] > [AXIS Installation wizard] に移動し、アプリケーションを開きます。[Camera X (カメラX)] > [Lens selection (レンズの選択)] に移動し、レンズを選択します。[Installation focus (設置フォーカス)] を行います。
PTZリモート接続の状態を確認する	[Settings (設定)] > [Apps (アプリ)] > [AXIS Installation wizard] に移動し、アプリケーションを開きます。[General (一般)] > [PTZ remote connection (PTZリモート接続)] に移動し、状態が [Connected (接続)] に設定されていることを確認します。設定されていない場合は、[Configure (設定)] をクリックし、PTZリモート接続を実行します。正しいIPアドレスとパスワードを入力します。
PTZ位置キャリブレーションの状態を確認する	[Settings (設定)] > [Apps (アプリ)] > [AXIS Installation wizard] に移動し、アプリケーションを開きます。[General (一般)] > [PTZ positioning calibration (PTZ位置キャリブレーション)] に移動し、状態が [Calibrated (キャリブレーション済み)] に設定されていることを確認します。設定されていない場合は、自動キャリブレーションまたは手動キャリブレーションを行います。

4分割表示が正常に機能しない

すべてのカメラビューを1つの画面に表示する際の問題です。カメラレンズのいずれかが回転している場合、4分割表示は機能しません。

パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量 (ビットレート) に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- GUIで画像を回転させると、製品のCPU負荷が増加します。
- 多数のクライアントによるMotion JPEGまたはユニキャストH.264のアクセスは、帯域幅に影響を及ぼします。
- 多数のクライアントによるMotion JPEGまたはユニキャストH.265のアクセスは、帯域幅に影響を及ぼします。

- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。

フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームの種類が同一であることを確認できます。

- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームと同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。

AXIS Q6010-E Network Camera

トラブルシューティング

- Motion JPEGおよびH.265のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- 貧弱なインフラによるネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピューターで閲覧するとパフォーマンスが低下し、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと全般的なパフォーマンスに影響する場合があります。

サポートに問い合わせる

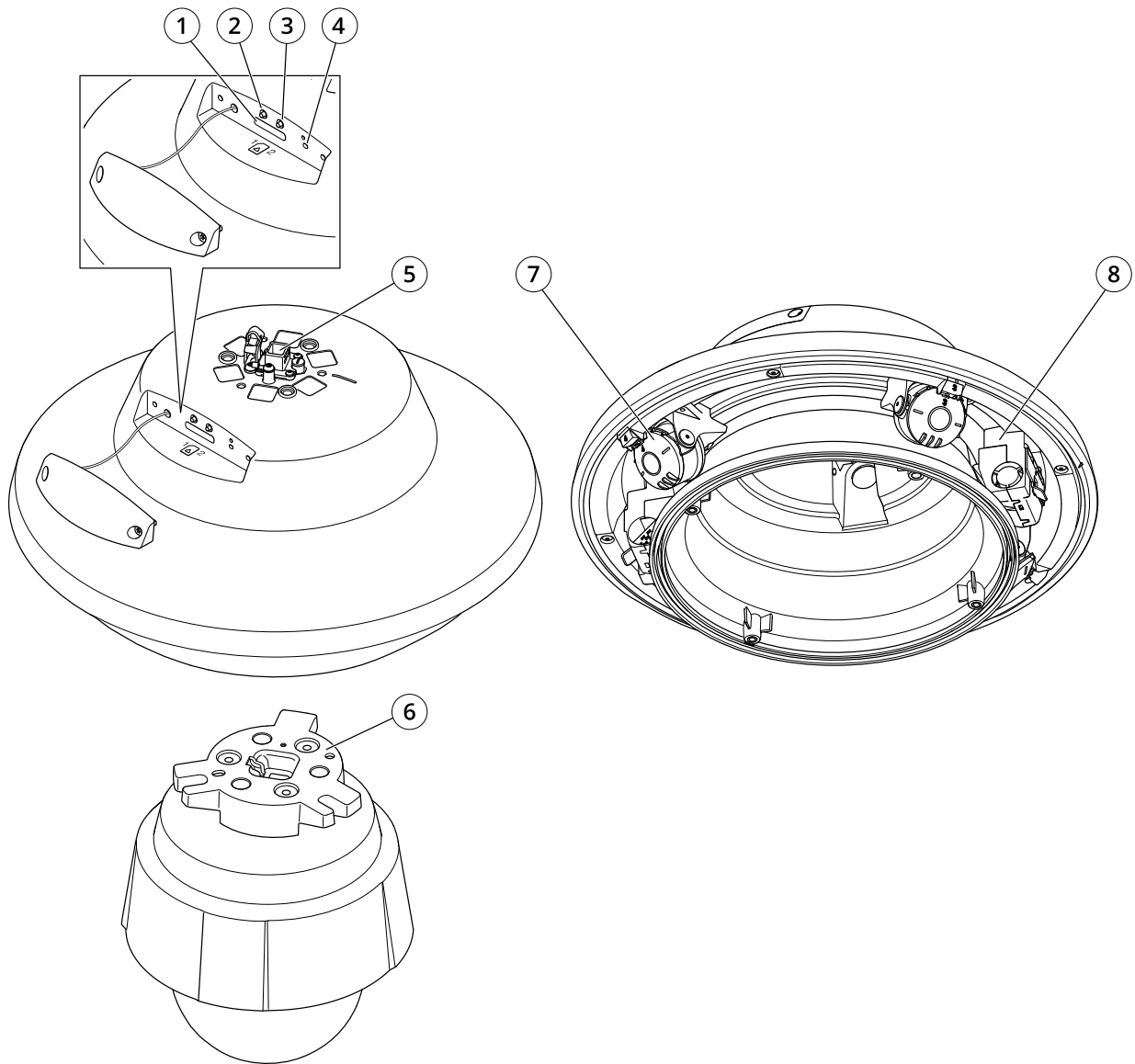
axis.com/supportでサポートに問い合わせます。

AXIS Q6010-E Network Camera

仕様

仕様

製品の概要



- 1 SDカードスロット
- 2 コントロールボタン
- 3 再起動ボタン
- 4 LEDインジケータ
- 5 ネットワークコネクタ
- 6 PTZカメラアダプター
- 7 カメラヘッド
- 8 ヒーター

AXIS Q6010-E Network Camera

仕様

LEDインジケーター

ステータスLED	説明
無点灯	接続時と正常動作時
緑	起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。
オレンジ	起動時に点灯します。ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。
オレンジ/赤	ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、オレンジ色/赤色で点滅します。


SDカードスロット

注意

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、SD/SDHC/SDXCカードに対応しています。

推奨するSDカードについては、axis.comを参照してください。

 SD、SDHC、およびSDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。SD、SDHC、SDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。18ページ工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。

再起動ボタン

再起動ボタンを押すと、製品が再起動します。

コネクタ

ネットワークコネクタ

High Power over Ethernet (High PoE) 対応RJ45 Push-pull Connector (IP66等級)

注意

カメラのIP66対応設計への準拠およびIP66保護等級の維持のため、必ず付属のRJ45 Push-pull Connector (IP66等級) を使用してください。あるいは、RJ45コネクタ付きのIP66等級のケーブルをAxisの販売代理店から購入してください。ネットワークコネクタのプラスチックシールドをカメラから取り外さないでください。

